

1. 事業の概要等

事務事業名	妊産婦支援事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	0193-27-5505
施策②	母と子への切れ目のない支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
<p>出産を控える女性の不安を解消し、安心して出産・子育てできる体制を整えるため、妊娠・出産に係る経済的な負担の軽減を図るほか、母親とその家族が健やかな育児をできるよう母親の不安や困りごと、身体的な負担の軽減を図る取り組みを実施するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
<p>県立釜石病院での普通分娩取り扱い休止を受け、医療圏内での出産ができなくなったことで妊婦や妊娠を考えている女性は不安を感じており、病院までの移動距離が長くなったことで、経済的な負担が増えている。また、核家族化の進行や共働き世帯・就労を継続する高齢者の増加等により親族等からの家事及び育児支援を受けることや周囲の人に育児に関する相談をしにくくなっており、家庭や地域での孤立感を抱く妊産婦がいる。</p>			
目的			
<p>母親が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、助産師や子育て経験者が支援を行い、地域における妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を強化することにより安心して産前・産後期及び子育て期を過ごすことができる。また、分娩取り扱いの再開はすぐには見込めない為、移動費用や待機宿泊費用を助成することで経済的負担を軽減する。</p>			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
<p>産前・産後サポート事業 産後ケア事業 妊婦応援給付金 妊産婦健康診査等アクセス支援助成金 出産・子育て応援給付金</p>			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
31870 千円	31870 千円	31870 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>助産師による相談支援等を通じ妊娠や出産に関する悩みを軽減することで、安心して子育てができる環境を構築されたい。また、子育て施策として、他市町村との比較・当市の強みの見える化を行い、他事業と併せて効果的にPRされたい。</p>			

1. 事業の概要等

事務事業名	地域子ども・子育て支援事業(子育て応援カード事業)		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	0193-27-5505
施策②	ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境をつくることを目的に、市内に住所がある未就園児の保護者を対象に、一時預かり、病後児保育、ファミリーサポートセンター、産後ケア、こども誰でも通園制度を利用した際に限度額の範囲で利用することができる子育て応援カード（ホッとカード）を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
一時預かり、病後児保育、ファミリーサポートセンター、産後ケア、こども誰でも通園制度を利用する際には費用が発生し、保護者が気軽に利用することができていない。また、未就園児の保護者にあつては、家庭という閉鎖空間で育児に向き合うことにより、体力的・精神的な負担が大きい状況がある。	
目的	
未就園児の保護者が気軽に一時預かり等の子育て支援サービスを利用できるようになり、体力的・精神的な余裕をもって育児にあたり、安心して子育てができるようになることを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
子育て応援カード(一時預かり、病後児保育、ファミリーサポートセンター、産後ケア、こども誰でも通園制度について限度額の範囲で利用することができるカード)の交付		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1023 千円	1023 千円	1023 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
当該事業を含めた子育て施策として広く PR し、子育て世帯が各支援を確実に受けられるよう努められたい。併せて、子育て施策として有効な打ち手につながるよう効果検証を行われたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	特定教育・保育施設支援事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	0193-22-5121
施策②	ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	平成30年度～令和10年度		
事業の概要			
保育士の業務負担の軽減により離職防止につなげ、また教育・保育サービスの充実を図るために、保育の周辺業務を行う職員を確保するための費用や事務負担の軽減を図るシステム導入及び施設整備等に必要な費用、障がい児の受入体制整備や施設所属職員の処遇改善等を目的とした費用に対し、補助金を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内教育・保育施設等の運営団体の中には、運営状況がひっ迫している団体が複数があり、職員の処遇改善や運営状況の改善が望まれている。	
目的	
保育士の確保、保育士の負担軽減を図ることで、保育士の離職防止につながり、保育の受入体制が整う。また、安心して子育てできるまちづくりに向けて、障がいの有無に関わらず、子どもが健やかに成長できる保育体制の整備や、各運営団体職員の処遇改善を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①保育業務のICT化推進、②保育支援者等の人材確保、③産休等を取得している職員の代替職員の確保、④医療的ケア児を保育する看護師等の確保、⑤児童が健やかに成長できる環境・体制整備、⑥保育等を行う運営団体所属職員の処遇改善等を目的とした補助金の交付により、子どもたちの安全安心な保育環境を確保する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
31371 千円	31371 千円	30564 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
国の補助メニューを有効活用しつつ、持続可能な体制で教育保育施設の面的な支援を継続されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	子ども・子育て支援給付事業（副食費の実費徴収に係る補足給付事業）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和10年度		
事業の概要			
3歳から5歳児の子を持つ保護者を対象に、経済的負担を軽減できるように支援し、安心して子育てができるようになることを目的として、副食費の一部又は全額を釜石市が負担し、教育・保育施設へ補足給付を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
副食費（主食を除く給食等に係る費用）は、幼児教育・保育の無償化の対象となっていない。また、日用品や文房具、行事参加費等も無償化の対象となっていないため、保護者の経済的負担は依然として発生している。	
目的	
副食費の一部または全額を釜石市が負担することにより、未就学児の保護者の経済的負担を軽減できるように支援し、安心して子育てができるようになることを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
副食費の実費徴収に係る補足給付の実施		
事業費		
R 8	R 9	R 10
13416 千円	13416 千円	13416 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
保育料の無償化により子育て世帯の経済的負担軽減が期待される一方、財源の確保が課題である。全国的にも保育料無償化に向けた取組を進める自治体が多いことから、引き続き国に対する要望を継続されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	医療費給付事業（子ども・妊産婦・ひとり親）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	市民課
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	0193-27-8491
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
子ども、妊産婦及びひとり親家庭の、適正な医療を確保し、心身の健康を保持するとともに、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的とする。医療機関を受診する際に医療費受給者証・医療費給付申請書を提示することにより、保険診療の医療費一部負担金を助成するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
子育て世代家庭において、妊娠・出産を含めた医療受診に係る一部負担金支払いが経済的な負担となっている。
目的
医療費の一部を給付し、経済的負担を軽減することで、適正な医療受診を確保することにより、心身の健康を保持し、生活の安定や福祉の増進を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
医療機関等で支払う医療費（一部負担金）を給付が不要となる。又は、診療報酬明細書ごとに対象者の自己負担額を差し引いた額を給付する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
111971 千円	111935 千円	111935 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
他の事業等と併せて、市の施策として広く PR されたい。また、こども医療費の補助については、他市町村においても広く実施されていることから、県に対し一律での負担を求める要望を継続されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	心豊かな子ども育成事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
多様な自然体験を提供することにより、こどもたちが豊かな心を持ち、郷土愛を育むことを目的として、自然体験活動を企画及び実施する民間団体等に補助金を交付するもの。また、補助金交付団体の活動や自然体験活動の大切さを周知するフォーラムを開催し、市民の参画を促進するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内には、釜石の自然を活かした体験活動を実施している団体が複数あるが、財政難のため運営が厳しい状況である。 また、市内教育・保育施設の入所児童の保護者を対象としたアンケートを実施した結果、家庭や地域でこどもに体験させたい活動として「自然体験活動（水遊び、虫捕り、キャンプ、ハイキングなど）」が1位だった。	
目的	
自然遊び場事業の実施を検討している団体が財源に悩まされず、多様な自然体験の機会を提供できることで、子どもたちの豊かな心や郷土愛を育成することを目的とする。また、自然体験活動を実施する団体を市民等に広く周知し、市民の参画を促進することを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①民間団体等の自然体験活動の企画及び実施に対する補助金の交付 ②補助金交付団体の活動や自然体験活動の大切さを周知するフォーラムの開催		
事業費		
R 8	R 9	R 10
800 千円	800 千円	800 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
こどもの健全育成や釜石らしい子育てにつなげるため、今後も引き続き事業を行う必要がある。新たな団体の創出・各団体の自立促進につながるようなスキームを検討し、過不足ない補助を行われたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学習支援を通した子どもサポート事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和10年度		
事業の概要			
不登校等の問題を抱える子どもが社会的孤立に陥らないよう、学習支援を通して地域の社会人等と触れ合える安全安心な居場所を提供するとともに、悩みを抱える子どもや家族が必要とする行政サービスを適切に受けられるよう支援するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
長期化したコロナ禍の影響により閉塞感が蔓延し、不登校児童生徒が増加していることから、子どもたちが安心して過ごせる環境で、人や社会と関わる力や学習習慣など、社会の自立に向けて生き抜く力を育む必要がある。また、その背景には家庭の抱える困窮の要因が複雑・深刻化しており、どうしたら良いかどこに相談したらよいか分からない保護者が増えていることから、行政支援につなぐ必要がある。	
目的	
学習支援を通して社会人と触れ合える安全・安心な居場所を提供することで、子どもたちが社会的孤立に陥らないようにする。また、様々な問題を抱える家庭に必要な行政支援につなげ、安心して子育てができる環境づくりを行う。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
学習支援を通した子どもサポート事業委託 学習支援を通して地域の社会人と触れ合える安全・安心な居場所を提供し、利用する子どもや家庭へ必要な行政の支援につなげる。（委託先：一般社団法人子どものエンパワメントいわて）		
事業費		
R 8	R 9	R 10
4141 千円	4141 千円	4141 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
不登校等の問題を抱える子どもは増加傾向にある中、学習支援を通じた安全・安心な居場所を提供することで、社会的孤立に陥らないような支援体制を構築されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	乳児等のための支援給付事業（こども誰でも通園制度）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	新規
5つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
教育・保育施設等に入所していない0歳6か月～満3歳未満の小学校就学前の子どもを対象に月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず保育所等を利用できる通園制度であり、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対する支援を強化するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
在宅で子育てする世帯の保護者の中には「孤立した育児」となるケースがあったり、不安や悩みを抱えていても自らSOSを発信できない場合がある。	
目的	
こどもとの関わりや遊びなどについて専門的な知識や技術を持つ保育者と関わることにより、孤立感や不安感が解消され、育児に関する負担感の軽減につながる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内教育・保育施設でのこども誰でも通園制度の実施		
事業費		
R 8	R 9	R 10
6960 千円	10490 千円	10490 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
子育て支援のため継続した実施が求められる。当該給付は、ほぼ全市町村で実施されていることから、国もしくは県の一律給付となるよう要望を継続されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	室内の遊び場運営事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	地域の中で豊かに子育てできる環境づくりの推進	電話番号	0193-22-5121
施策②	子どもや子育て家庭を支える地域・場所づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～令和10年度		
事業の概要			
<p>子育てしやすい環境づくりへ向けて、天候に左右されずに親子で楽しめ、年間を通して遊べる「室内の遊び場」を整備するもの。 また整備した遊び場を活用して、子育て世帯向けのイベントを開催するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>子どもの遊び場として公園が整備されているが、雨の日や熱中症のリスクが高まる夏場などに遊ぶことができる室内の遊び場が少ない。</p>	
目的	
<p>室内の遊び場を整備することにより、雨の日や夏場なども安心して過ごすことができる。また、屋外・屋内の遊び場があることにより 個々に適した多様な遊び方や過ごし方が選択できる。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>市内商業施設内に遊び場を整備する。 また「親子で楽しめるイベントが少ない」という声に対し、実際に遊び場を提供している民間企業にイベントを開催を依頼する。</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
10588 千円	10588 千円	10588 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>天候に左右されず安心して子どもを遊ばせることができる室内の遊び場を整備するとともに、魅力的な遊び場を通じて近隣市町村から子育て世代を呼び込み、地域間の交流を活性化することで地域のにぎわい創出や定住促進にもつなげられたい。</p>			

1. 事業の概要等

事務事業名	児童発達支援センター運営事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭センター
施策①	地域の中で豊かに子育てできる環境づくりの推進	電話番号	25-0010
施策②	障がい・発達に心配のある子どもの支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	令和9年度～令和10年度		
事業の概要			
児童福祉法に基づき岩手県から指定を受けている障害児通所支援事業所。釜石大槌圏域に在住する児童を対象とした児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の3つの事業を実施。子どもの発達に悩みを抱える家族への相談支援や、障がいをもつ子どもを預かる施設への助言・援助も行うなど現在の多機能型事業所としての機能をさらに強化するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
現在の多機能型事業所（すくすく親子教室）は、障害児通所給付費の支給決定と通所受給者証の交付を受け契約した児童のみ利用可能。保護者が子どもの発達や対応に困り感があっても、なかなか早期療育につながらないケースが多い。
目的
児童発達支援センターは、利用契約した児童だけでなく地域に住む児童全てが対象となるため、困り感をもつ保護者に対する支援の幅が広がる。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
事業所内での療育実施。園等への訪問支援。こども家庭センター公認心理師の派遣による発達相談。児童発達支援管理責任者を研修講師としての派遣。関係機関との事例検討会。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
0 千円	5737 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
地域企業の経営基盤の強化は、地域産業の持続的発展及び活性化を図るうえで重要である。産学官連携や企業間連携の枠組みを生かし、実効性の高い事業を展開されたい。			